

水資源機構 低入札価格審査委員会 審議概要

平成23年度第3回低入札価格審査委員会については、下記の通り書類の回議をもって審議が行われ、調査結果については了承された。

開催日：平成24年3月23日、26日及び27日

委員

委員長 小澤 一雅 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授
尾野村 祐治 ジャーナリスト
高田 敏明 弁護士

(五十音順敬称略)

議 事：【木曾川用水弥富揚水機場都市用水サージタンク耐震工事の調査結果について】

調査結果：低入札価格調査制度における重点調査を評価値第1位から第4位の者について並行して行った。その結果、評価値第1位の者について、以下の理由から契約の内容に適合した履行が可能と判断する。

- ・主たる工種の地盤改良工（薬液注入工及び高圧噴射攪拌工）については、全国展開している専門会社へ下請けすることで材料などを安価に調達できており、価格についても妥当であることを資料及び説明により確認した。
- ・高圧噴射攪拌工については、機構積算はマルチジェット工法であったが、評価値第1位の者は OPT ジェット工法（半円型）を採用し、これにより直接工事費が低価格となったものであり、この施工仕様が品質及び出来形に影響を及ぼすことなく確実に実施できるものであることを資料及び説明により確認した。また、採用する施工仕様がコストダウンに大きく寄与しており、計上漏れや下請協力会社へのしわ寄せなどによるコストカットではないことを確認した。
- ・品質管理については、強度確認試験等を基準に沿って適切に行うことを資料及び説明により確認した。
- ・共通仮設費、現場管理費及び一般管理費については、必要項目が適切に計上されていることを資料及び説明により確認した。また、参加資格確認申請時における施工計画提案は、全て適切に計上されていることを確認した。

審議の概要

- ・調査結果は妥当であると考える。
- ・今回の重点調査で、上記の OPT ジェット工法が問題なく採用できることが判ったことは良かったのではないかと。